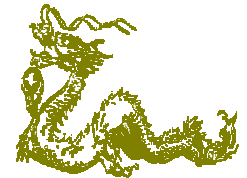


# 実施要項



名 称 *Pentel Presents*

## Saitama Dragon Cup

～ チャレンジ ザ ワールド ～

兼

### 2009年度 海外派遣チーム選考会

- 主 催 埼玉ドラゴンボート大会実行委員会
- 共 催 社団法人日本カヌー連盟
- 主 管 埼玉ドラゴンボート大会実行委員会
- 協 力 幸手市 栗橋町 埼玉県カヌー協会 行幸湖カヌークラブ INO-G
- 特別協賛 ペンてる(株)・(株)岡部コントリビューションパーク(仮称ボートピア栗橋)
- 協 賛 (株)ヒカリ 幸手栗橋地区業務用自動車安全協議会 (株)ムラクシ 中央印刷(株)  
 三国コカコーラボトリング(株)羽生支店 (株)エールクリエイト 朝日生命 (株)サンエー  
 (株)セレスポ (株)ウイズコーポレーション (予 定)
- 開催期日 **平成21年 4月19日(日) 【雨天決行】**
- 競技会場 権現堂調節池(行幸湖)特設会場 埼玉県／幸手市
- 競技日程
- |            |          |        |                 |
|------------|----------|--------|-----------------|
| リーダーミーティング | 4月19日(日) | 8:15～  | 行幸湖カヌー艇庫        |
| 開 会 式      |          | 8:45～  | 行幸湖カヌー艇庫前式典会場   |
| 競 技 開 始    |          | 9:30～  | 権現堂調節池(行幸湖)特設会場 |
| 閉 会 式      |          | 15:30～ | 行幸湖カヌー艇庫前式典会場   |
| 選考結果発表     |          |        |                 |
- 競技種目
- 1) Festa の部 Saitama Dragon Cup  
**( オープン )** 先着順24チーム以内  
 200m直線レース トーナメント方式
- 2) Compe の部 IWGA 8<sup>th</sup> World Games 2009 派遣チーム選考会  
**( 混 合 )** World Club Crew Championship 派遣チーム選考会  
 先着順12チーム以内  
 500m直線レース 2漕合計タイムトライアル方式  
 ※合計が同タイムの場合は、ベストタイムのチームを優先とする。
- ※ 同一チームで、1)2)ともエントリー可。但し、レースの時間的配慮は行わない。
- ※ Compe の部において、年齢要件のみ適合しないチームのオープン参加を認める。

## 競技方法

- 1) 2009 国際カヌー連盟(ICF)ドラゴンボート競技規則による。
- 2) レーン幅9m、奇数(1・3・5・7)レーンを使用した直線コースを使用する。
- 3) 1レース最大4艇を使用する。(使用艇:イタリア・ドナラチコ艇)
- 4) 4艇に満たない場合、1レーンより順次使用する。

参加資格  
チーム編成

- 1) Festa の部
  - ①ドラゴンボートを愛好するチーム(JCF・JDBAへの登録は問わない)
  - ②健康な小学校高学年(5年生)以上
  - ③チーム編成

**パドラーの男女は問わない**

・チームリーダー: 1人	・パドラー: 16~20人	・ドラマー: 1人
・ステアラー: 1人(依頼可)	・サブ: 2人以内	<u>17~25人以内</u>

※クルー全員ライフジャケットを着用すること。

※監督は選手を兼ねることができる。

- 2) Compe の部
  - ①クルー全員が日本カヌー連盟にA登録、又は日本ドラゴンボート協会にA団体登録しているチーム、又は手続き中であること。
  - ②シニア(18歳以上)
  - ③チーム編成

**混合(8人以上の女性パドラーで構成)**

・チームリーダー: 1人	・パドラー: 18~20人	・ドラマー: 1人
・ステアラー: 1人	・サブ: 2人以内	<u>20~25人以内</u>

※ライフジャケット着用は競技者の自己責任のもと自由とする。

※ドラマー・ステアラーの性別は問わない。

※監督は選手を兼ねることができる。

## 参加料

- 1) Festa の部・Compe の部とも 1チーム40,000円  
 ※チーム登録された人数分の参加賞・保険代等を含む。  
 ※希望により1食700円(お茶付き・税込み)で昼食を斡旋する。
- 2) 同一チームで2種目エントリーの場合 1チーム70,000円  
 ※但し参加賞は登録した人数分のみとなります。
- 3) 参加費・斡旋弁当の代金は、下記宛て振り込むこと。
- 4) 一度振り込まれた参加料は、参加申込みが募集チーム数をオーバーした場合、または大会事務局の判断により参加をお断りする場合を除き、自然災害や事件、事故等により大会を中止した場合でも一切返還しない。  
 ※大会を中止した場合は、エントリーチーム宛て後日記念品のみを贈る。斡旋弁当を申し込んだチームに対しての弁当代金は返金する。

## &lt;振込先&gt;

埼玉りそな銀行 栗橋支店 普通 4052899

ドラゴンボート実行委員会 事務局 保坂善彦 (ホサカ ヨシヒコ)

## 申込方法

所定の参加申込書式(栗橋町・日本カヌー連盟・日本ドラゴンボート協会・東京都ドラゴンボート協会の各ホームページからダウンロードできます)に必要事項を記入し、埼玉ドラゴンボート大会実行委員会へ郵送で申し込むこと。

メールによる申し込みも同時に受け付ける。(E-mail kokutai@town.kurihashi.saitama.jp)

※参加申込書・参加費確認により申込み完了とする。

申込期間 平成21年 2月25日(水) AM9:00 から  
平成21年 3月30日(月) PM5:00 まで先着順に受付

その他

- 1)主催者は、傷病や紛失、その他の事故に際し、応急処置を除いて一切の責任を負わない。
- 2)大会出場中(公開練習時含む)の映像・写真・記事・記録・テレビ・新聞・雑誌・インターネット等への肖像権等は主催者に属する。
- 3)「Compeの部」優勝チームを2009年度国際大会に出場するJCFチーム候補として選考委員会に推挙する。但し、予定されている国際大会への参加が難しいと判断された場合は、2位以下のチームを併せて推挙する場合がある。
- 4)競技終了後選考会を開催し、選考結果を閉会式時に発表するとともに、日本カヌー連盟ホームページにて公表する。
- 5)派遣費用及びナショナルチームユニフォーム等に係る費用は、原則として全額参加者個人の負担とする。
- 6)ナショナルチームメンバーは、居住地の都道府県カヌー協会を経た日本カヌー連盟のA会員登録者であること。
- 7)各大会最終オーダーまでの間、チームリーダーは日本カヌー連盟のA会員をもって選手の変更を行う事ができる。
- 8)国際大会へ向けた強化練習に当たり、埼玉ドラゴンボート大会実行委員会より練習艇を貸与する。
- 9)強化期間中の必要経費(傷害保険への加入・交通費等)はチームで負担すること。
- 10)ナショナルチームの最終編成は、別途日本カヌー連盟ドラゴンカヌー運営委員会と協議し決定する。
- 11)2009年度派遣予定競技会

Sponsorship	Start Date	End Date	Event	Location	NOC
ICF	Jul 10	Jul 12	WORLD CLUB CREW CHAMPIONSHIP	Ulsan (ウルサン)	KOR (韓国)

Sponsorship	Start Date	End Date	Event	Location	NOC
IWGA (ICF)	Jul 17	Jul 18	IWGA 8th World Games 2009	Kaohsiung City (高雄)	TPE (台湾)

問合せ

■大会運営・競技会に関する事項

〒349-1212 北埼玉郡北川辺町大字麦倉 911-5  
埼玉ドラゴンボート大会実行委員会 事務局 保坂善彦  
TEL 090(9136)7800 E-mail kokutai@town.kurihashi.saitama.jp

■海外派遣に関する事項

〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内  
社団法人日本カヌー連盟 事務局  
TEL 03(3481)2400

## — 注意事項 —

### 1. 一般事項

- ①当日の天候等により、競技日程を変更する場合がある。その場合は、チームリーダーミーティングを開催し説明する。
- ②受付時間は午前7時15分から午前8時00分までとし、チームリーダーは受付にて到着を申告の上、登録人数分の交付物(プログラム・記念品)及びドライバー用ゼッケンを受け取ること。
- ③チームリーダーは、午前8時15分からのチームリーダーミーティングへ出席するとともに、大会役員との連絡係を担うこと。また、表彰式においてチームの代表となること。
- ④クルーは、午前8時45分からの開会式に間に合うよう式典会場に集合し、主催者の指示に従い、チーム毎に整列すること。
- ⑤主催者は、不適切と思われる参加者の競技への参加を拒否できるものとする。
- ⑥車で来場する場合には、会場の駐車スペースが限られるため乗り合わせて来場し、駐車場係員の指示に従い駐車すること。(駐車場内での事故・トラブル・盗難に関し、主催者は一切責任を負わない)
- ⑦クルーが故意または重大な過失により、ボートまたは備品を破損もしくは滅失したときは、当該者もしくは当該チームはその損害を賠償しなければならない。
- ⑧チームの控所は決められた場所に設営すること。特に管理用道路上および本部・決勝テントや記録掲示板周辺へのテント・シート等の設営は禁止する。
- ⑨1食700円(お茶付き・税込み)で昼食(弁当)の斡旋を行う。希望するチームは参加申込みと同時に申込み、事前に弁当代金を振り込むこと。大会を中止した場合の弁当代金は原則返金に応じる。

### 2. レースの方法について

#### 【Festa の部】

- ①レースの組合せは事前に大会事務局で行い、大会プログラムに掲載するとともに、大会当日のチームリーダーミーティングの際に主催者から発表する。(1レース最大4艇を予定)
- ②コースは直線200m(レーン幅9m)とし、「予選」「敗者復活戦」「準決勝」「決勝」を行う。
- ③準決勝へ進めなかったチームの内、タイム上位4チームによる「B決勝」を行う。出場チームは敗者復活戦終了後発表する。
- ④ステアラー不在のチームは、事前にステアラーの派遣を依頼することができる。ただし、派遣したステアラーによりレースに不利を被っても、一切の異議を挟むことはできない。
- ⑤スタートラインに着く前に、転覆したチームおよびスタート後7分以内にゴールできないチームは、競技資格を失うことがある。
- ⑥大きくコースを逸脱し他のチームを妨害・接触したチームは、審判長の判断により、競技資格を失うことがある。

- ⑦同一レースにおいて、7分以内にゴールできないチームが続出した場合は、ドラゴン・ヘッドが最もゴールに近いチームを勝者とする。
- ⑧異議申し立てについては、一切行うことができない。

### 【Compe の部】

- ①発艇の組み合わせは事前に大会事務局で行い、大会プログラムに掲載するとともに、大会当日のチームリーダーミーティングの際に主催者から発表する。(1レース最大4艇を予定)
- ②500mのタイムレースとし、2漕の合計タイムで順位を決定する。
- ③1漕・2漕の間隔は、1時間以上とする。
- ④2漕の合計タイムが同タイムの場合は、最速タイムを持って順位を決する。
- ⑤異議申し立てについては、レース終了後15分以内に、チームリーダーが競技委員長(本部テナント内)宛て文書にて申告すること。

### 3. 安全対策について

- ①競技者は、各自安全確保に努めるとともに、自己管理を行うこと。
- ②自己責任での参加とするが、チームリーダーは、各選手の健康とケガ防止に留意すること。心臓病や運動中に胸の痛み、気を失ったことのある選手及びペースメーカーを着用している選手の参加は認めない。
- ③大会が終了するまで、競技会場内での飲酒は禁止する。また、飲酒しての乗艇や艇上での喫煙も禁止する。
- ④競技者同士あるいはチーム内で発生したケガ、遭難、死亡事故などの責任について、主催・主管・後援・協力・協賛の各団体は、参加者に対し、応急処置以上の責任を負わない。
- ⑤Festa の部の競技者は必ずライフジャケットを着用すること。Compe の部においては、参加者の自己責任において着用すること。(ライフジャケットは主催者側で用意する。)
- ⑥乗艇の際選手は決められた漕席に着き、前後及び左右のメンバーを確認すること。漕席は、最前列左席が1番、右席が2番、次列左席が3番、右席が4番となり、以下順次10列(19、20)まで決める。
- ⑦水上で事故が発生したときは、ドラマー又はステアラーの号令で点呼を取りお互いの無事を確認すること。
- ⑧転覆した場合は、ボートにつかまり救助艇による救助を待つこと。水上での安全管理上の責任は、チームリーダー(キャプテン)が負うものとする。  
※危険なため、決してボートを裏返したり、勝手にボートに乗り込まないこと。

### 5. スタート前の集合及び乗艇について

- ①チームの構成は、チームリーダー・パドラー・ドラマー・ステアラー・サブ・合計25名以内とし、選手の配置は、事前に決定しておくこと。

- ②JDBAもしくはIDBF公認済のパドルは使用可とする。(大会当日パドル検定は行わない)
- ③当該レースに参加するチームは、レース開始時間の20分前に、マーシャリングエリアのレーン表示板前にドラマーを先頭に漕席順に2列で集合待機すること。
- ④クルーは、競技役員の指示に従い、ライフジャケットを着用し、ボートの中央から速やかに乗艇すること。
- ⑤手・指を保護するための用具(ゴムなどで補強された手袋)、漕席等の敷物、マリンシューズの使用は認める。(スニーカーやビーチサンダル等マリンシューズ以外で乗艇することはできない)
- ⑥漕ぎ手は、進行方向を向いて座って漕ぐこと。また、裸の選手は、乗艇を認めない。
- ⑦乗艇後は最短距離をもって、速やかにスタート地点へ移動すること。
- ⑧あらかじめボートによって漕ぐレーン(奇数レーンを使用)が決定されている(1号艇:1レーン・2号艇:3レーン・3号艇:5レーン・4号艇:7レーン)ので該当するコースのスタート地点に移動しスタートの合図を待つこと。
- ⑨スタート1分目に銅鑼で合図を行う。アライナーの指示で、スタートラインにドラゴン・ヘッドを揃えること。
- ⑩スタートの用意ができた艇は、ドラマーがバチを太鼓の上に置くこと。
- ⑪パドルを水中に静止した状態でスタートを待つことができる。
- ⑫スタートの合図は、スターターの、「アテンション・ゴー」(Attention Go)の掛け声で知らせる。
- ⑬スタートの合図が完全に終わらないうちにパドリングをはじめた場合は、False Start(フライング)とみなされ、直ちにレースを中止し再スタートする。
- ⑭同じ組で、2度目にFalse Startがあった場合、レースは続行されるが、False Startしたチームは最下位となる。False Startの判断責任者は、スターターである。

## 6. レース後の降艇について

- ①ゴールしたチームは、速やかに降艇場所に向かい、降艇すること。
- ②スタート後7分間にゴールできなかったチームは、「失格」とアナウンスされた時点で降艇場所に向かい、速やかに降艇すること。
- ③ゴールした後ボート中心に位置するパドラーは、可能な限りボート内の水をかき出すこと。

## 7. 表彰

- ①Festa の部 1位～3位のチームにトロフィー並びに副賞を贈る。
- ②Festa の部 1位のチームに対して、ぺんてるカップを贈る。
- ③2009年度 海外派遣チームに奨励賞を贈る。



## 選 手 名 簿

チーム名: \_\_\_\_\_

チームリーダー氏名: \_\_\_\_\_ JDBA団体登録番号 \_\_\_\_\_

No.	CREW	氏 名	性 別	JCF登録番号	備 考
1	ドラマー				
2	ステアラー				派遣の場合は、氏名欄に派遣と記入
3	パドラー1				
4	2				
5	3				
6	4				
7	5				
8	6				
9	7				
10	8				
11	9				
12	10				
13	11				
14	12				
15	13				
16	14				
17	15				
18	16				
19	17				
20	18				
21	19				
22	20				
23	21				
24	22				
25	23				



## 公開練習スケジュール

期 日：平成21年 4月18日(土)  
場 所：権現堂調節池(行幸湖)特設会場

### <注意事項>

- ・公開練習は無料です。(昼食・飲料水等は各自用意してください)
- ・練習時間30分前に、行幸湖カヌー艇庫に集合してください。
- ・選手の駐車場は、艇庫前をご利用ください。
- ・オリエンテーション後、ボートごとに練習していただきます。  
※公開練習時の注意事項は大会要項に順じます。
- ・合同チームでの練習も可とします。チーム間で調整し、どちらかの代表者が申し込みください。
- ・都合により他チームとの合同練習となることがあります。
- ・公開練習を希望するチームは、下記希望時間帯(①～③)について、第1希望および第2希望を記入し、参加申し込み時に申し込みください。

午 前 の 部	①10:00～11:00	②11:15～12:15
午 後 の 部	③13:00～14:00	—

- ・1時間帯最大4艇での練習となりますので、公開練習参加可能チーム数は、最大12チームとなります。
- ・申込み多数の場合は申込み順とし、第2希望の練習時間帯になった場合のみ連絡します。  
(大会事務局より連絡がない場合は、第1希望の時間帯での練習となります)

### 【連絡先】

〒349-1212  
埼玉県北埼玉郡北川辺町大字麦倉911-5  
保坂善彦  
TEL 090(9136)7800 E-mail ayashoot@yahoo.co.jp

## 練 習 申 込 書

チ ャ ム 名		参加人数	名
代 表 者	氏 名		
	TEL	FAX	
	E-mail		
練習時の 舵取り希望	有 ・ 無		
希望時間帯	第1希望	第2希望	

※希望時間帯については、公開練習を希望する時間帯の番号を記入してください。